

平成26年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価の結果報告書

(平成25年度事業対象)

平成26年11月

宇土市教育委員会

—目次—

I 点検・評価制度の概要	
1 経緯	1
2 目的	
3 対象事業の選定方法	
4 学識経験者の知見の活用	
5 教育委員会としての今後の方向性	2
II 点検・評価の結果	
1 特別支援教育事業（小学校）	4
2 特別支援教育事業（中学校）	5
3 コミュニティ・スクール事業	6
4 適応指導教室事業	7
5 心の教室相談員活用事業	8
6 そろばんの時間指導員派遣事業	9
7 教育力向上支援事業	10
8 防災機能強化事業（非構造部材の耐震化）	11
9 学校校庭芝生化整備事業（鶴城中）	12
10 放課後子ども教室推進事業	13
11 地域教育コーディネーターの育成・活用事業	14
12 人材活用事業	15
13 地域教育力活性化事業	16
14 史跡宇土城跡保存整備事業	17
15 網田焼の里資料館活性化事業	18
16 市内重要遺跡保存活用事業	19
17 小西行長関連事業	20
18 大太鼓活用事業	21
19 歴史と文化で元気な宇土市づくりプログラム事業	22
20 宇土市歴史資料保存活用事業	23
21 市民体育館耐震改修事業	24
22 給食センター施設整備事業	25
III 教育委員会の活動状況	
1 委員会議の開催状況	26
2 その他の活動状況	28

## I 点検・評価制度の概要

### 1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第27条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、事務局職員を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものです。

事務の点検・評価は、上記地教行法第27条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

### 3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される22事業を選定しました。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5人の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

#### 外部評価委員名簿

氏 名	職業等	委嘱期間
田口 剛	元教師	委嘱の日から平成27年3月31日
長光 智法	住職	//
本多 聡子	元教育委員	//
芳本 真一	団体職員	//
伊勢 聰	公募	//

## 5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記5つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
要改善	現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
廃止	事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業
完了	完了した事務事業

### <参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 点検・評価の結果

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(小学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障害のある児童や特別な配慮を必要とする児童に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう支援する。		
活動内容 (事業成果)	市立7小学校において、特別支援学級は13学級(自閉症、情緒障害6学級、知的障害3学級、肢体不自由1学級、難聴2学級、弱視1学級)あり、児童数は25人である。また、小学校2校に通級指導教室を設置している。児童一人ひとりに対して、よりきめ細かい支援が図られるよう、市単独財源で非常勤職員5人、緊急雇用創出事業を活用して、5人の非常勤職員を学校に配置した。発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童一人ひとりの状態に応じたよりきめ細かい適切な教育的支援を行うことで、児童自立に繋がっている。子どもの障害に応じた適切な教育支援が行えるよう協議する就学指導委員会や特別支援連携協議会を開催し、継続した支援を行っている。		
予算額・決算額	H24予算額 13,955千円 H25予算額 11,420千円	H24決算額 13,911千円 H25決算額 11,174千円	
担当課 自己評価	発達障害を含む障害のある児童や特別な配慮を必要とする児童は、年々増加傾向にあり、よりきめ細かい適切な教育的支援を図るため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう継続した活動が今後も必要である。		

(外部評価委員の意見)

- ・近年、障がいがある人に対して嫌がらせや暴行を加える等の事案も発生している。社会教育の場で啓発事業等が必要ではないのか。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・教育委員会は良くやってくれているし、予算の関係もあると思うが現場は人手不足である実態をよく聞く。
- ・障がいをもった児童・生徒への支援はもちろんだが、全ての子ども達への障害者への理解を深めてゆく事も大切だと思う。
- ・色々な状況の児童一人ひとりに寄り添った教育支援は今後も継続が必要だと考えます。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(中学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障害のある児童や特別な配慮を必要とする児童に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう支援する。		
活動内容 (事業成果)	市立3中学校において、特別支援学級は6学級(自閉症、情緒障害3学級、知的障害1学級、難聴1学級、肢体不自由1)あり、生徒数は20人である。生徒一人ひとりに対して、よりきめ細かい支援が図られるよう、市単独財源で非常勤職員2人、緊急雇用創出事業を活用して、2人の非常勤職員を学校に配置した、発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒一人ひとりの状態に応じた、よりきめ細かい適切な教育的支援を行うことで、生徒の自立に繋がっている。子どもの障害に応じた適切な教育支援が行えるよう協議する就学指導委員会や特別支援連携協議会を開催し、継続した支援を行っている。		
予算額・決算額	H24予算額 5,857千円 H25予算額 4,019千円	H24決算額 5,809千円 H25決算額 3,896千円	
担当課 自己評価	発達障害を含む障害のある児童や特別な配慮を必要とする児童は、年々増加傾向にあり、よりきめ細かい適切な教育的支援を図るため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう継続した活動が今後も必要である。		

(外部評価委員の意見)

- ・近年、障がいがある人に対して嫌がらせや暴行を加える等の事案も発生している。社会教育の場で啓発事業等が必要ではないのか。
- ・小学校と同じ様になるが年々、教育的支援を図る児童・生徒が増えてきている中で指導者がいればという声も聞く。
- ・障がいをもった児童・生徒への支援はもちろんだが、全ての子ども達への障害者への理解を深めてゆく事も大切だと思う。
- ・色々な状況の児童一人ひとりに寄り添った教育支援は今後も継続が必要だと考えます。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	コミュニティ・スクール事業	担当課	学校教育課
事業目的	保護者・地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育の実現に取り組む。		
活動内容 (事業成果)	学校運営協議会委員会を実施し、委員から、学校運営や教育活動等に関して貴重な意見をいただいている。学校目標の共有化及び学校評価を踏まえ、改善や見直しを図り、保護者・地域住民に信頼される開かれた学校づくりを推進することができた。また、コミュニティ活動の実践により、学校の教育活動の活性化を図ることができた。		
予算額・決算額	H24予算額 1,050千円 H25予算額 1,329千円	H24決算額 577千円 H25決算額 1,065千円	
担当課 自己評価	コミュニティを構成し実践した。また、学校、家庭、地域との連携強化のため、情報収集と発信を行い、学校運営協議会を核とした学校、家庭、地域のネットワークの構築を図った。		

(外部評価委員の意見)

- ・学校・家庭・地域社会一体になってよりよい教育の実現にむけて取り組むことは、大切なことであるが主体性は学校が持って実現すべきである。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・学校・家庭・地域との連携強化は、とても必要だと思うし、本音を言いあえる信頼関係を築くその中の一言でも大切にしたいと考える。
- ・児童の減少が進む現状の中で、より強い学校・家庭・地域の連携が必要と思われる。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了



平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	適応指導教室事業	担当課	学校教育課
事業目的	心理的または情緒的な原因により、登校できない児童生徒に対し、相談・指導等を行うことにより、学校復帰を支援し、登校できない児童生徒の社会的自立を育てる。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会及び学校との連絡会の実施</li> <li>・校外学習(社会見学、野山の散策など)と体験活動の充実</li> <li>・学校復帰を目指して、体験登山等の試みを児童生徒の状況に応じて行う。</li> <li>・保護者、児童生徒との教育相談の実施</li> <li>・不登校の児童生徒及びその保護者にほっとスペースの来室を呼びかけたり体験会の開催。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 4,158千円 H25予算額 3,162千円	H24決算額 2,950千円 H25決算額 2,861千円	
担当課 自己評価	適応指導教室指導員の指導のもと、生徒個々の特性に応じ、学校と連携した手立てを講じ、学校復帰へ向けた取り組みを行ったことで、学校で過ごす時間が増え、社会的自立にも繋がりがつつあると考える。		

(外部評価委員の意見)

- ・不登校児童・生徒の割合は県(国)と比較していかがか。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・とても良いことだと考える。ほっとスペースの来室の呼びかけを強化してたくさんの人に利用してほしい。非行傾向の子どもたちの投げかけも考える。
- ・学校生活にどうしても馴染めない児童生徒に対しての支援や学校復帰に向けての取り組みは継続して必要だと考える。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室相談員活用事業	担当課	学校教育課
事業目的	生徒が心にゆとりをもって、就学することができる教育環境を整えるため、生徒が抱える悩み、不安等を気軽に相談することで、ストレスを解消し、学校生活が楽しいという思いを持たせる。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織の中に、より深く入り、より多くの生徒と接触できるようにする。</li> <li>・学校を取り巻く地域サポートの方とも連携して、不登校傾向の生徒をより学校に近づける努力をする。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 1,599千円 H25予算額 1,599千円	H24決算額 1,486千円 H25決算額 1,461千円	
担当課 自己評価	悩みや不安等を抱える生徒に対し、日常的な会話などを通して気軽に相談できる環境づくりに努めたことや、生徒がより充実した集団生活をおくれるよう生徒、先生、保護者との連携強化を図ったことで、生徒の悩みや不安が軽減、解消していると思われる。		

(外部評価委員の意見)

- ・心の問題で登校できない生徒に対する対応とともに怠学による不登校生徒に対する相談事業も拡充していくべきではないか。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・今回教育委員会で臨床心理士など多く配置していただき助かっているという声を聞く。保護者の悩みも年々増えているので、保護者の悩みももっと聞いてもらえると嬉しいという声もある。
- ・親や先生には相談しにくい事も気軽に相談出来る環境作りは、大切な事だと考える。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	そろばんの時間指導員派遣事業	担当課	学校教育課
事業目的	児童生徒の計算力, 集中力を高め, 向上心及び主体的に取り組む態度を育てるとともに, 算数・数学の学力向上を図る。		
活動内容 (事業成果)	文部科学省の教育課程特例校を認められているため, 市内小中学校にそろばん指導員を派遣し, 1学級あたり小学校3~4年生は年間20時間, 小学校5~6年生は15時間, 中学校1~2年生は, 年間10~15時間の「そろばんの時間」の授業を実施		
予算額・決算額	H24予算額 5,358千円 H25予算額 5,434千円	H24決算額 5,170千円 H25決算額 5,140千円	
担当課 自己評価	教育課程特例校指定であるそろばんの授業を引き続き実施し, 伝統や文化を重んじた教育ができた。また, 児童生徒の計算力・集中力を高め, 向上心及び主体的に取り組む態度を育てるとともに算数・数学の学力向上を図ることができた。		

(外部評価委員の意見)

- ・文部科学省の学力テストとそろばん実施校のテスト結果との比較等はできないか。
- ・事業成果が出るよう, 事業実施して頂きたい。
- ・前年度よりそろばんの時間が減っているの逆で少ない時間での実施はどうかという意見もあるので, そろばんでの個人差の大きさ(できる子・全くできない)に驚くという。
- ・指導者の確保が課題である事だが意義のある事業なので, しっかりと継続していただきたい。
- ・アンケート結果では賛否両論ある様ですが, 子ども達の計算力や集中力の向上等を目的として, 継続して欲しいと考えます。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	教育力向上支援事業	担当課	学校教育課
事業目的	教職員の指導力向上や児童生徒の学力向上を図るため、指導員を幼稚園及び学校に派遣し、授業改善に向けた指導助言		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員による定期的な授業改善指導訪問を通して、教職員の指導力向上</li> <li>・学習の基礎となる学習訓練等については、教職員の取組に効果が表れており、授業における学習指導の充実につながってきている。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 4,060千円 H25予算額 4,012千円	H24決算額 3,854千円 H25決算額 3,759千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基礎となる学習訓練等については、教職員の取組に効果が表れており、授業における学習指導の充実につながってきている。</li> <li>・小中学校の教職員を対象とした中堅教員養成講座は、教職員に学校における組織体の一員としての自覚が高まり、校長の意を体した学校の核として取組ができるような人材の育成につながってきていると考える。</li> </ul>		

(外部評価委員の意見)

- ・教職員の指導力の向上を図るとともに教職員の使命感(観)・倫理感(観)の充実の向る必要があるのでは
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・非常に助かっている。わからない所、又授業へのアドバイスはとても助かる。
- ・児童生徒に対して適切な教育環境を提供する事は大切な事だと考える。その為にも教職員の質の向上につながるこの事業は継続して欲しいと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ( ) ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-----------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	防災機能強化事業(非構造部材の耐震化)	担当課	学校教育課
事業目的	学校施設は子供たちの学習及び生活活動の場であり、非常災害時には住民の応急避難場所となることから、その安全性の確保は極めて重要であり学校施設の建築物の構造体の耐震化が進められている。一方、近年の大型地震において新耐震基準で設計された建物であっても、家具の転倒による圧死や天井やガラスの落下などいわゆる「非構造部材」の被害が発生しており、人的被害や避難通路の通行阻害等の2次災害防止を図るために、今後はさらに非構造部材の耐震化を行うもの。		
活動内容 (事業成果)	平成24年度に2幼稚園・7小学校・3中学校の非構造部材の点検を行った。 平成25年度では、網津小学校の非構造部材の耐震改修を行った。改修内容は、校舎の窓ガラス落下防止としてフィルム貼を行った。これにより児童への被害が防止でき、また避難時の通路の安全を確保することができた。また、体育館においては家具の固定等を行い転倒防止を図った。		
予算額・決算額	H24予算額 6,950千円 H25予算額 10,000千円	H24決算額 6,411千円 H25決算額 9,112千円	
担当課 自己評価	網津小学校は、平成23年度に新耐震基準で改築した新校舎である。この事業により、地震災害における二次的な被害が軽減でき、一方、突風や台風による被害対策も含め、児童の安全を確保が図られた。		

(外部評価委員の意見)

- ・耐震化措置を速やかに実施することは大切。近年の災害の状況等から一日も早い実施を希望する。
- ・事業成果がでるよう、事業実施して頂きたい。
- ・安心・安全のためには必要である。
- ・子ども達が安心して学べる環境を整備して欲しい。
- ・学校施設は安全な場所であってはならないと考える。今後も危険度の高い箇所からの改修をお願いしたい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校校庭芝生化整備事業(鶴城中)	担当課	学校教育課
事業目的	鶴城中学校は、平成25年5月現在推計生徒数839人の大規模校であり、部活動も多様で盛んであることから、平成24年度に円滑な授業および部活動のスペース確保を目的に第2グラウンドを整備した。今回の学校校庭芝生化整備事業については、学校開放の一環で地域と一体的なスポーツの推進を図るため、生徒だけでなく住民への夜間開放をするために人工芝生化及び夜間照明等の整備事業を実施するもの		
活動内容 (事業成果)	平成24年度に第一期工事造成工事及び防球ネット工事を行った。平成25年度において、日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金(通称:toto)の追加募集により、引き続き第二期工事としてテニスコート3面およびフットサルコート1面の人工芝生化を行った。また一般市民も利用できるように駐車場や夜間照明設置の整備を行った。なお、totoの助成額は33,595千円であった。		
予算額・決算額	H24予算額 39,428千円 H25予算額 88,897千円	H24年度決算額 32,093千円 H25年度決算額 67,578千円	
担当課 自己評価	人工芝生化されたことによって、日中は生徒が授業や部活動で安全で快適に運動することができ、夜間や休日は地域住民が快適に利用できることとなり、フルに施設の活用が図られることとなった。この事業により、生徒及び住民の運動能力の向上や体力向上及び健康増進及び地域の活性化が期待される。(平成26年5月末に完了し6月より供用開始)		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果がでるよう、6月より供用開始していただきたい。
- ・昼は生徒、夜間等は地域住民の活用の場として利用できるのは良い。今後はもう少し地域住民への周知を行い利用率を上げれば良い考える。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充    ・    維 持    ・    要 改 善    ・    廃 止    ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">完 了</span>
---------------------	--

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課
事業目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日:学習アドバイザーによる学びタイム(国語・算数のドリル学習など)</li> <li>・金曜日:地域の方々とふるさとタイム(スポーツや伝承あそび等の交流活動)</li> <li>・年2回の運営委員会の開催</li> <li>・学期ごとのスタッフ会議の開催</li> <li>・教育委員会ALTとの交流(ハロウィンパーティー)</li> <li>・参加児童・保護者へのアンケート実施</li> <li>・活動スタッフの募集</li> <li>・各学期1回生涯学習課企画のふるさとタイムの実施</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 667千円 H25予算額 698千円	H24決算額 563千円 H25決算額 595千円	
担当課 自己評価	<p>成果:PTA(保護者)や婦人会等の地域団体が活動指導者となり、活動内容を企画・運営していて、地域の主体性が活動に生かされた。 最終回で実施したアンケートでは、児童からの回答で18名中8名が「とても楽しかった」、10名が「楽しかった」とあり、参加した児童に楽しんでもらえたと感じている。</p> <p>課題:地域の主体性を活動に生かしていくためのコーディネーターの育成と学習アドバイザー・安全管理員等のスタッフの確保。また現在、網田小学校1校のみであるが、各地区のさらなる地域力向上を目指し、追加校の調査・検討。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・参加した児童が「楽しい」という感想は100%であり、とても喜ばしいことである。追加校の調査・検討をよろしく願いたい。
- ・子ども達の放課後の安心・安全な時間の提供とコーディネーター方を通して地域で見守る体制はとても良い、今後、網田だけでなく、他校へも拡充していけばと考える。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育コーディネーターの育成・活用事業	担当課	生涯学習課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築</li> <li>・地域の活性化や学校を核とした地域づくり</li> <li>・地域住民(学校支援ボランティア)の知識や経験を生かす場の提供</li> <li>・教員の子供と向き合う時間の確保</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティアの募集(随時)</li> <li>・実行委員会(年2回)、地域協議会(住吉中校区、鶴城中校区各2回)の開催</li> <li>・具体的な学校支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせの支援(住吉中校区68回、鶴城中校区87回)</li> <li>校内環境整備及び学校行事の支援(住吉中校区5回、鶴城中校区11回)</li> <li>登下校安全見守り支援(住吉中校区540回、鶴城中校区380回)</li> <li>学習支援(住吉中校区10回、鶴城中校区14回)</li> </ul> </li> <li>・ボランティア養成講座の実施2回</li> <li>・ボランティアの集い(説明会)</li> <li>・事業成果報告会及び研修会の開催</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 2,026千円 H25予算額 1,998千円	H24決算額 1,887千円 H25決算額 1,875千円	
担当課 自己評価 (事業成果を含む)	<p>成果: ①学校と学校支援ボランティア(地域住民)との連携を図りながら地域ぐるみで子どもを育てる体制作り寄与している。          ②学校支援ボランティア(地域住民)の知識、経験を生かす場の確保により、地域の活性化に繋げる契機となってきている。          ③学校支援を通して、担任の先生(学校側)の教育効果を上げるのにも役立っている。          ④学校支援ボランティアの事業に取り組む姿勢が、子どもたちの心に届き、ボランティアの心を育むのに役立っている。          ⑤本事業について、学校及び地域の理解が少しずつ図られ、学校側からの具体的な支援の要請もでてくるようになってきた。</p> <p>課題: ①本事業のさらなる啓発と情報発信          ②学校支援ボランティアの確保          ③各種団体との連携。</p>		

(外部評価委員の意見)

・支援ボランティアの養成講座の拡充は。  
 ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。  
 ・現場では指導員の不足をよく聞くので、この事業と組みあわせての学習指導援助生活指導援助できたらと考える。  
 ・これからは特に学校と家庭だけでなく、地域力の活用が重要となってくると考える。積極的にボランティア等へ参加することで地域も元気になると思う。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了



平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人材活用事業(人材バンク)	担当課	生涯学習課
事業目的	様々な知識や技術を持つ地域の方々を募り、学校や団体、地域に派遣し、伝統・文化の継承や世代間の交流等を行うことによって、地域の教育力の向上と生涯学習活動の推進を図る。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会を開催し事業への理解を深めたと同時に指導者間の交流も行った。(参加者21人)</li> <li>・生徒から指導者へ感謝の気持ちを表したお礼の文集などが手渡され、生徒児童の豊かな情操を育てている。</li> <li>・冊子の作成(年度での各派遣内容の成果・課題等をまとめた事業実績)</li> <li>・広報でのPR(指導者の登録募集や事前研修会の内容等)</li> </ul> ※指導者登録者数 231人 申請件数 27人 実施日 40日(生け花・絵手紙・昔遊び・太鼓演奏・着付け等の伝統文化の継承) 派遣指導者延べ人数 132人 利用者数延べ人数 2,679人		
予算額・決算額	H24予算額 299千円 H25予算額 207千円	H24決算額 130千円 H25決算額 125千円	
担当課 自己評価	<p>成果:この事業を利用された方たちからは、生徒からの感謝の気持ちを表したお礼の文集などが手渡され、生きる喜び・感動を得て何ものにも代えがたいとの声をいただくなど、少しずつではあるが、地域教育力の向上と生涯学習の推進を図るための重要な事業となっている。</p> <p>課題:既存の登録者でまだ活動を1回もされていない方たちをいかにアピールし、活躍の場を提供できるかが課題のひとつである。また、指導者の高齢化が進んでおり、伝統芸能等の新たな指導者の獲得、地域への利用の拡大も大きな課題のひとつである。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・需要と供給のバランスが難しい。人材養成の充実
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・よい事と考えるが、課題の改善を期待します。
- ・地域には、様々な技術や技能を持った方が沢山おられると思う。これらの方々といかに連携を取っていくかが課題である。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育力活性化事業	担当課	中央公民館
事業目的	<p>少子高齢化、情報社会等、子どもを取り巻く地域の新たな教育課題に対応し、地域において人間性豊かな子どもを育てる環境を充実させるため、各公民館を軸として地域の人的物的教育資源等を活用しながら、週末等に様々な体験活動を実施し、地域教育力の活性化を図る。</p>		
活動内容 (事業成果)	<p>(活動内容) 各地区公民館で田植え、稲刈り等の農業体験、竹細工、ストーンアート、地域探訪、昔遊び、料理教室、環境学習、読み聞かせ等を実施。計43回 延1,456人(内支援者540人) ・3泊4日の通学合宿(網田、網津、緑川、走潟)実施。参加者81人 ・公民館子ども祭り 参加者62人 (事業成果) 地域の特色ある取組を実施する中で、地域の方と子どもたちとの触れ合いの場が確保され、特に支援者にとっては「生きがいつくり」となり、子供たちにとっては「地域の人に見守られている」意識が強まっている。「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めている。</p>		
予算額・決算額	<p>H24予算額 996千円 H25予算額 996千円</p>	<p>H24決算額 495千円 H25決算額 442千円</p>	
担当課 自己評価	<p>少子化・情報社会にあつて、子どもの姿が地域で見かけなくなり、異年齢集団での遊びや地域の自然を生かした体験活動が激減している中、地域の人を巻き込みながら、子どもたちの体験活動の場を提供することは、地域において人間性豊かな子どもを育てる環境の整備となっている。 また、高齢者の生きがいつくりにも寄与しており、「地域の子どもは、地域で育てる」という気風を高めている。さらに、地域そのものの絆が薄れている中、子どもを中心とした地域活動は、ますます重要な位置づけとなる。 課題としては、少子化とともに、4年生以上になると部活等で、子どもの参加が少なく、低学年を中心としたプログラムに限りがある。また、地域の支援者も高齢化が進み、青年、熟年層のボランティア育成が必要である。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・異年齢集団の活動は良いことだと考える。できる限り、大人は手を出さず体験できたらと考えます。ボランティア育成も大変ですがよろしくお願ひします。
- ・通学合宿は学校・地域等さまざまな方々が、関わり、子ども達も多くの人々のお陰で社会、家庭が成り立っていると体感できる機会だと思う。
- ・地域の方々の指導のもと様々なふれあいや体験をとおして子ども達の成長や、又、指導する地域の方々のいきがいつくりにもなっている。

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了</p>
---------------------	--------------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	<p>中世城跡としては県内で最初に国指定史跡となった貴重な文化財であり、恒久的に保存するため適切な維持管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、多くの市民の憩いの場や野外博物館的な施設等として生涯学習の拠点とする。加えて、体験発掘やキャスルウォーキングといった市民参加型のイベントを通じ宇土の重要な地域資源としての認知度を更に向上させ、まちづくりの拠点としても活用する。</p>		
活動内容 (事業成果)	<p>・城の西側を南北に配される大規模な横堀跡(通称「カラホリ」)について、構造や掘削時期等を知るための発掘調査を行った。調査の結果、堀跡は近世以降に大規模な改変を受けており、調査区付近では近現代の土層が厚く堆積していることが判明した。人力による発掘調査では限界があるため、調査は部分的に深く掘り下げて土層の観察を行うに止め、全面的な掘り下げは次年度に持ち越すこととした。          調査期間 平成25年6月～10月 調査面積 120㎡          ・調査中の現場を利用して、市民向けの宇土城跡体験発掘を実施した。(平成25年8月18日)          ・保存整備工事          第3ブロック三城及び周辺地区について、解説板・ベンチの設置及び張芝を行った。          ・第4ブロック及び第5ブロックの保存整備について基本計画を策定した。</p>		
予算額・決算額	H24予算額 10,055千円 H25予算額 11,608千円	H24決算額 10,009千円 H25決算額 11,432千円	
担当課 自己評価	<p>第3ブロックは、第2ブロックと併せ史跡宇土城跡を正しく理解するうえで重要な地区であることから、年次別事業計画に沿って保存整備工事を実施し、平成25年度にて一部を除き概ね完了した。平成25年度からは第5ブロックの発掘調査に着手、第4・第5ブロックの保存整備工事を行うための基本計画も策定した。平成26年度は第5ブロックの発掘調査及び整備に向けた準備を行い、第3ブロック発掘調査成果報告書の刊行や、市民を対象とした発掘調査の成果公表や展示・講演会等を行い、市民が郷土の歴史における宇土城跡の重要性について理解を深め、貴重な地域資源として活用を促す取り組みを行う。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・すばらしい宇土の貴重な文化財ですので、整備を続けてほしい。只、宇土市民の中には、宇土城跡がどこにあるのか。又そういった体験発掘が行われている事を知らない人が沢山おられると思うので、もう少しアピールしてはどうかと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	網田焼の里資料館活性化事業	担当課	文化課
事業目的	江戸時代中期に栄えた網田焼は、肥後藩の窯元として全国的に知られた焼き物である。この網田焼を復元するため平成21年度に「藩窯網田焼復元検討委員会」を立ち上げ、現在は地元の陶芸家らの協力を得て藩窯時代の作品の復元に取り組んでいる。近時では藩窯時代の逸品と見劣りしない優れた作品が完成してきており、今後この復元作品を活用して、網田焼の里資料館の活性化が望まれる。また、明治時代から網田地域で栽培されている「網田ネーブル」の価値を再認識してもらうため、ネーブルに関する展示を発展させる。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網田焼の里資料館運営委員会の開催(6月7日)</li> <li>・網田焼の里資料館秋まつり(10月20日)、春まつり(3月16日)</li> <li>・宇城の窯元めぐり作品の展示・期間中毎日開館(10月19日～10月27日)</li> <li>・網田焼の里資料館中園邸外壁塗装工事(5月～6月)</li> <li>・網田焼の里資料館中園邸戸袋修繕(2月～3月)</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 5,318千円 H25予算額 3,211千円	H24決算額 4,657千円 H25決算額 2,424千円	
担当課 自己評価	<p>中園邸の外壁が一部損傷していたため、適切な維持管理のため修繕を行う。                  JR九州ウオーキングや資料館まつり等のイベント開催時は多くの来館者があるが、現在は土・日・祝日のみの開館ということもあり普段の来館者は少ない。                  平成26年度からは地域の名産物である「網田ネーブル」を軸として来館者を呼び込む策を検討する。また、網田駅舎(網田レトロ館)と連携したプログラム(オルレ・フットパス等を生かした)を模索したい。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・開館日の増加とか他のイベントの開発とかを行うことはどうか。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。普段の日来館者対応は何か考えておられるのか。
- ・網田レトロ館はメディア等でも良く見かけるので今後も、みなさんへのアピールを期待します。
- ・網田焼も宇土市のすばらしい歴史的財産であり今後も維持管理は必要と思う。これから、いかに何かとタイアップをして来場者を増やしていくかを考えていかなければと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	-------------------------------

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市内重要遺跡保存活用事業		担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市には、国指定2件・県指定9件・市指定106件の計117件の指定文化財がある。これらの指定文化財や現時点で指定されていない遺跡の中には、将来的に国・県指定になる可能性がある重要遺跡が存在する。これら重要遺跡を後世に継承していくため適切に管理・保存するとともに、市民の方へ調査成果を公開する等、遺跡や文化財の積極的な活用が求められている。</p> <p>市内重要遺跡の分布調査や発掘調査、出土遺物整理などを実施することにより、国・県指定に向けた様々な要件を整理するとともに、保存計画等を策定して遺跡の活用や恒久的な保存を図る。</p>			
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努めた。また、開発行為に対応するための試掘確認調査や出土品の整理作業を行った。</li> <li>・重要遺跡である轟貝塚・曾畑貝塚について、国史跡指定に向けて遺跡周辺の状況を確認する発掘調査を実施した。</li> <li>・宇土市内に多数存在する遺跡を正確に把握して適切な保護に努めるため、轟地区を中心に遺跡詳細分布調査を実施した。</li> <li>・各重要遺跡の保存・活用について、今後行うべき事業について話し合う宇土市重要遺跡保存活用検討委員会を開催した(11月、3月)。</li> </ul>			
予算額・決算額	H24予算額 2,422千円 H25予算額 2,053千円		H24決算額 2,314千円 H25決算額 2,025千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土市内に多く存在する遺跡を正確に把握し、適切な保護に努めるため、市内遺跡の詳細な分布調査を継続して実施する。平成25年度から26年度にかけては宇土市でも特に遺跡が存在する可能性が高い轟地区の調査を行っている。</li> <li>・国指定の可能性が充分にある轟貝塚・曾畑貝塚について、文化庁の助言・指導のもと発掘調査を継続して実施する。両貝塚については、文化庁はもとより学界からも高い評価を得ており、宇土市教育委員会からの指定申請が強く望まれており、早急な準備を進めたい、と考える。両貝塚が国指定を受けることで歴史を活かしたまちづくりに強力に弾みがつくもの、と考えており、この作業に関しては文化課のみならず宇土市全体としての取り組みを切望する。</li> </ul>			

(外部評価委員の意見)

- ・遺跡・史跡等の地域住民への啓発も進めて欲しい。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・宇土市全体の取りくみになることを期待します。
- ・適切な調査を行い、後世に残さなければならないものについては、整備をすすめなければと考える。

教育委員会としての  
今後の方向性

⊙ 拡充

・ 維持

・ 要改善

・ 廃止

・ 完了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小西行長関連事業	担当課	文化課
事業目的	<p>小西行長の人物像や国内外での活躍・功績を再評価することによって新たな地域資源を生み出し、宇土市の歴史遺産や伝統文化と併せて地域の活性化並びに観光の振興を図る。具体的には小西行長に関連した研究を発表していただく講演会を継続して開催、小西行長への理解を一般の方へ深めてもらう。また、史料調査を行い、最新の成果を「うと学研究」に掲載。小西行長の研究拠点として、広く県内外の方々と共有を深める。</p>		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よみがえる小西行長公」講演会 第5弾(6月30日, 参加者125名)を開催。</li> <li>・「よみがえる小西行長公」講演会 第6弾(9月28日, 参加者160名)を開催。</li> <li>・うと教育の日関連事業「郷土の先人小西行長公について学ぶ」を開催。</li> <li>・小西行長及び宇土関連ヨーロッパ文献資料調査(東京)を専門家に依頼。イエズス会宣教師の記録史料から新たな史実の掘り起こしを行った。</li> <li>・小西行長関連古文書『小西一行記』を取得、講演会に合わせ市民への公開を行った。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 547千円 H25予算額 691千円	H24決算額 413千円 H25決算額 531千円	
担当課 自己評価	<p>「よみがえる小西行長公」講演会を継続して定期的を開催し、小西行長に関する市民の方々の認識を広めることができている。また、平成26年度は小西行長の養女「ジュリアおたあ」を、劇団わらび座との共同企画のミュージカルとして全国に向けて発信、小西行長の拠点として、歴史を学ぶ現代のトレンドにおける宇土市の位置づけを確立させたい。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。「ジュリアおたあ」のわらび座との共同企画、大きい成果と思う。
- ・継続は力なり、大変とは思いますが期待する。行長しゃんがかわいい。
- ・宇土の歴史的偉人「小西行長」を核にもっと市内外へアピールを行っていく事について、今後も継続して行って欲しい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">維 持</span> ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	---

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	市民の主体的な文化・芸術活動を促進するため、「宇土大太鼓フェスティバル」への支援を行うとともに、太鼓文化の保存継承のため、太鼓教室の開催や演奏家が地域や学校に出向いて演奏を行うアウトリーチ事業へも取り組む。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土大太鼓フェスティバルへの支援を行った。</li> <li>・太鼓教室を開催した。(20回・40人参加)</li> <li>・小学校へ出向いて生の太鼓の演奏を行う、アウトリーチ事業を実施。(4校6回)</li> <li>・地域づくり夢チャレンジ推進事業「宇土太鼓祭」(2月)への支援を行った。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 3,642千円 H25予算額 2,110千円	H24決算額 3,392千円 H25決算額 1,939千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓教室は毎年受講希望者が多く、抽選を行って決定した。課題曲は毎年異なるが、ほとんどの受講生が最後まで練習に励んでいる。</li> <li>・「宇土大太鼓フェスティバル」では、宇土高校だけでなく市外の実力校の参加があり、太鼓を通じた地域交流を行うことができている。また、大太鼓の聖地として、プロ太鼓集団が定期的に出演するまでになっている。</li> <li>・「宇土太鼓祭」では和太鼓演奏の第一人者を招き、県内の若手チームなどの出演も相まって会場が満席立ち見となる盛況であった。このイベントを通じ、多くの市民の方に「宇土の大太鼓」を再認識していただけた。</li> </ul>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・大太鼓、宇土の名物に期待します。
- ・大太鼓も宇土のすばらしい財産である。大太鼓教室だけでなく、もう少し市民の方々が太鼓に触れる機会が多ければと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ <input checked="" type="radio"/> 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	歴史と文化で元気な宇土市づくりプログラム事業	担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市は、地形的特性や歴史的な沿革、生活文化や住民意識など、社会的・経済的・文化的な特性から7つの地区に分けられ、その中心に地区公民館が位置している。各地区には「轟水源と轟泉水道」「マルメロ」「網田焼」「馬門石」といった特色のある資源があるものの、現在はこれらの資源が地域の活性化へ十分に活かされていない。そこで、地区公民館が中心となって地域の資源の魅力を見直し、コミュニティの再構築や地域振興の活性化につなげたい。</p>		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うと魅力塾」として開講し、基礎コースとして地域ブランド・地域活性化策についての参加者全体研修を行った。(8月・3回)</li> <li>・基礎コース終了後、応用コースとして市内7地区の歴史文化資源8テーマについて、各地区公民館にて参加者によるワークショップを実施。(各テーマ平均6回)</li> <li>・歴史文化資源8つのテーマについて、地域活性化策として実施している先進地を視察。</li> <li>・テーマごとの応用コースワークショップの成果を参加者全員で発表・共有する全体報告会を行った。(12月中間発表・2月成果発表)</li> <li>・宇土市の平成25年度の成果について、文部科学省の全国発表会にて発表を行った。(2月)</li> </ul>		
予算額・決算額	H25予算額 1,026千円	H25決算額 856千円	
担当課 自己評価	<p>平成25年度からの3か年という事業期間において、平成25年度は「学ぶ」を主眼として、各歴史文化資源を地域活性化へ結びつけている国内先進地への視察を公民館長を中心に行った。その成果をもとに各公民館にてワークショップ形式の学習会を行い、歴史文化資源の再認識をしてもらった。</p> <p>平成26年度は、前年度の成果を受けて「描く」を主眼に、前年度同様ワークショップ形式で実行可能な地域振興策を各公民館をベースに実施する。そして活性化策を展示する。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・元気な宇土市を期待します。
- ・地域ごとの文化や伝統を保存し、伝えていくためにも有効だと考える。
- ・各地域に色々な資源があるが、その内容を知らない住民も少なくないと思う。まず、その資源を知る事により、各地域の活性化につながっていけばと考える。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了



平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市歴史資料保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的価値を有する資料を、市民が気軽に活用できるための環境整備を行うとともに、市民の方々が歴史・文化により一層興味を持ってもらうよう、これらの資料の持つ価値をPRし、地域活動等につなげていくため事業を実施する。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土市歴史資料保存活用事業運営委員会を開催した。(10月)</li> <li>・歴史刊行物として、「うと学研究第35号」を発売。「ヨーロッパ史料に見る小西行長・ジュリアおたあ特集号」と題し、小西行長関係史料調査の最新の成果をまとめた内容を発表した。</li> <li>・緊急雇用創出事業を活用し、歴史資料フィルム電子化事業を行った。</li> <li>・デジタルミュージアムの内容更新を行った。</li> <li>・市内小学校6年生向けに宇土の歴史を分かりやすく紹介した「ふるさと宇土の歴史」シリーズの最終刊として、「明治・大正時代～現代」編を刊行。市内小学校6年生の教室に配架した。</li> <li>・保存年限が経過し、廃棄される予定の行政文書の中から、将来宇土市の歴史を語るうえで資料的価値が高い文書を「歴史的文書」として選別し、保存整理作業を行った。</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 6,624千円 H25予算額 14,203千円	H24決算額 6,051千円 H25決算額 13,087千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土市史編纂事業にて収集した歴史的・文化的価値を有する資料を市民が気軽に活用できるよう環境整備を行い、平成26年度にて「うと学資料室」を開設。今後は教育委員会所蔵資料を中心に漸次公開対象資料を増やしていきたい。</li> <li>・古文書資料のマイクロフィルム電子化事業を継続して実施。平成26年度はできなかったが、緊急雇用創出基金事業などの補助事業で合致するものがあれば、その都度要望していく予定。</li> <li>・膨大な歴史資料の保管場所の確保が喫緊の課題である。今後も空き家などの情報収集に努め、速やかに確保したい。</li> </ul>		

(外部評価委員の意見)

- ・歴史資料館の建設に向けての取り組みも始めてみてはいかがか。
- ・事業成果が出るよう、事業実施して頂きたい。
- ・市民が歴史を知ることにより、宇土市に愛着がとれる。これからも拡充して欲しい。
- ・宇土市の歴史的資料等の管理・保管又PRしていく事は大切な事業だと思う。今後も継続して行ってほしい。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市民体育館耐震改修事業	担当課	スポーツ振興課
事業目的	平成21年度に耐震診断を実施した結果、耐震補強が必要と判断されたため、屋根を軽量化し耐震性を向上させることと、外壁を補修することを目的とする。また、空調設備を整備することにより、非常時の避難施設としての機能強化を図ることを目的とする。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修工事設計業務委託</li> <li>・空調設備設計業務委託</li> <li>・耐震改修工事</li> <li>・空調設備工事</li> <li>・耐震改修工事監理委託</li> <li>・空調設備工事監理委託</li> </ul>		
予算額・決算額	H24予算額 440,641千円 H25予算額 402,086千円	H24決算額 36,323千円 H25決算額 390,167千円	
担当課 自己評価	平成24年度に改修工事設計業務及び空調設備設計業務は完了し、平成25年度、耐震改修工事及び空調設備工事を完了する。消費電力の極めて少ない無風・無音の除湿式放射冷暖房システムという全国初の空調システムの導入となり、大会開催時は選手の熱中症もなく運営がスムーズに行われ、大会関係者からの評価も高く、選手や観覧者からの良い評価を得ている。大きな大会等の誘致にも有利となる。 (教育委員会としては完了)		

(外部評価委員の意見)

- ・体育館を有効活用して行って頂きたい。体育館の改修計画があれば教えて頂きたい。
- ・継続してほしい。
- ・改修後、体育館を数回利用したが、冷暖房システムについては、とても良いと感じた。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止

完了

平成25年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	給食センター施設整備事業	担当課	給食センター
事業目的	施設設備の点検を行い実態を把握し、衛生管理の徹底及び給食業務の充実を図るため施設整備を行う。		
活動内容 (事業成果)	自動フライヤー1機購入(取替) 食器消毒保管機購入		
予算額・決算額	H24予算額 12,912千円 H25予算額 18,617千円	H24決算額 11,130千円 H25決算額 16,454千円	
担当課 自己評価	H25年度計画していた自動フライヤー及び食器消毒保管機の更新を実施した。予定どおり更新できたので今後も引き続き整備計画に従い順次進めていく。		

(外部評価委員の意見)

- ・緊急に実施する事業がなければ年次計画のとおり実施を
- ・整備計画に基づき、事業実施して頂きたい。
- ・アレルギー対策を徹底
- ・給食センターでの対策は予算上でも大変だと考えるが、アレルギーを持つ子どものデータを学校職員が共有する等、もっとやれることがあるのではないか。
- ・子ども達へ安全でおいしい給食を提供するにあたり、今後も古くなった整備に関しては定期的に改修をお願いしたい。

教育委員会としての  
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了

### Ⅲ 教育委員会の活動状況

#### 1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

平成25年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
平成25年4月15日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成25年度学校評議員の委嘱について 平成25年度幼稚園評議員の委嘱について 平成25年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について 平成25年度宇土市学校教育努力目標について 平成25年度宇土市幼稚園教育努力目標について 平成25年度宇土市生涯学習努力目標について 平成25年度宇土市人権教育推進努力目標について 平成25年度宇土市文化振興努力目標について 平成25年度宇土市立図書館努力目標について 平成25年度宇土市社会体育努力目標について 宇土市学校給食センター努力目標について 教育功労者の表彰について スポーツ功労者の表彰について 宇土市歴史資料保存活用事業運営委員会委員の委嘱について 史跡宇土城跡保存整備検討委員会委員の委嘱について 平成25年度宇土市奨学生新規採用者の選考について
平成25年5月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（走瀧小） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（緑川小） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（網津小） 宇土市社会教育委員の委嘱について 宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について 宇土市立図書館協議会委員の任命について 宇土市民体育館条例の一部を改正する条例について 平成25年度宇土市一般会計6月補正について
平成25年6月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園の保育料減免に関する規則の一部を改正する規則について 宇土市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について 平成25年度宇土市小中連携推進に関する実践研究校の指定について

		宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
平成25年7月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について 宇土市民体育館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について 宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について
平成25年8月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成26年度教育課程特例校指定の一部変更及び廃止について 平成25年度宇土市一般会計補正予算について
平成25年8月27日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 第2次宇土市教育振興基本計画の策定について
平成25年9月17日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成25年度第1回心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について
平成25年10月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市民会館指定管理者運営評価委員会委員の委嘱について 平成25年度第2回心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について 宇土市教育委員会委員長の選挙について
平成25年11月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市教育委員会外部評価委員会委員の任命について 宇土市緑川小学校運営協議会委員の解任について 宇土市緑川小学校運営協議会委員の任命について 平成25年度宇土市一般会計補正予算について
平成25年12月13日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成25年度心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について
平成26年1月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成25年度心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について
平成26年2月5日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について 児童生徒の表彰について 宇土市文化財保護審議会委員の委嘱について 宇土市立学校施設の使用に関する条例の一部を改正する条例について 平成25年度宇土市一般会計補正予算について 平成26年度宇土市当初予算について
平成26年3月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市特別支援教育相談員設置規則の制定について 宇土市学校教育指導員設置規則の制定について 平成26年度宇土市中心の教室相談員の委嘱について 平成26年度学校産業医の委嘱について

		平成26年度学校内科医, 眼科医, 耳鼻科医, 歯科医及び薬剤師の委嘱について 宇土市立小・中学校管理運営規則の一部を改正する規則について 宇土市轟公民館長の任命について 宇土市社会教育指導員の委嘱について 学校給食の給食費について 学校給食センター給食用物資納入業者の選定について
--	--	--

## 2 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席するなどしています。

平成25年度における、その主な活動は次のとおりです。

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・教育委員行政視察研修
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- ・成人式典
- ・学校給食試食会
- ・その他各種イベント事業への出席

## 【宇土市教育委員会委員名簿】

(平成26年11月1日現在) <

職名	氏名	任期
委員長	伊豫 富久	平成23年10月1日～平成27年9月30日
委員長職務代理者	岩村 俊明	平成24年12月24日～平成28年12月23日
委員	木村 峰子	平成25年10月15日～平成29年10月14日
委員	長尾 忠	平成24年12月24日～平成28年12月23日
教育長	浦川 司	平成26年6月24日～平成27年9月30日

